

事業名

Think Globally, Act Locally! ...!

目 標

視野を広げながら、故郷に夢と誇りを持とう！

1. 取組の視点

名勝月ヶ瀬梅溪と知られる本地域は、豊かな自然、歴史、文化を守ってきた先人が、絆を大切にしてきた地域です。近代化と共に、地場産業は衰退し、若者が都会へと流失、活気がなくなりました。そんな中で、地域の子どもが故郷に夢と誇りを持ち、胸を張って故郷を語れるようにしたいと、故郷学習や事業を進めています。伝統文化・歴史・産業にかける人の想いを知り、体験する中で未来の担い手としての自覚を持たせるように取り組みます。また、地域のことのみならず、地球環境保護や多文化共生の立場等、視野を広く持ち、発信・交流する力も持たせたいと願っています。

2. 取組の概要

【アルミ缶回収活動で車いすを】地域の絆の強さを表す活動は「アルミ缶回収活動」です。17年前より中学校生徒会の呼びかけで始まり、地域福祉協議会、ボランティア愛歩21、住民、学校が一つになり継続して実施し、寄贈した車いすが100台を突破。地域福祉フェスティバルで報告会を行いました。福祉貢献だけでなく、地球環境保護に役立つ活動であり地域の誇りとなりました。

**地域ぐるみで福祉貢献100台超え・環境保護**

【地域スポーツ支援】年間を通じ、スポーツで繋がり、子どもを育てる気風があります。年代を超え、地域がつながり、レガッタ大会、スポーツフェスティバル、体育祭、駅伝、マラソン、部活動支援と行事を組み、「地域の子どもを地域で育

てる」体制ができました。また、子ども見守り隊が年間を通じて、子どもたちの登下校を見守ってくださいました。支援に感謝します。

【学区ブランド紅花染プロジェクト】梅溪の始まりである烏梅^{うばい}を使い、月ヶ瀬オリジナルの紅花染。今年は中学校のみならず、地域の大人、放課後子ども教室と共に実践しました。秋の交通安全で「バイ（梅）バイ（梅）交通事故」と銘打ち、“紅花しおり”を警察や安協、子どもと一緒に配り、発信しました。また、「交流の集い」で、ストールなどを展示・地域特産品を発信しました。

**地域あげて紅花染めプロジェクト・共に発信！**

【保・小・中連携】少人数で育つ子どもたちの固定化された人間関係を解消するため、縦割り行事を工夫し、合同の梅採り、体育祭、防災訓練を実施しました。特に1月17日の合同防災訓練は、何度も分団会を行い、研修を重ね実施しました。

3. 成果と課題

地域で取り組んだアルミ缶回収活動が、ユネスコ大会で認められ、「中学校賞」を受賞。続けて取り組む力を与えられました。継続実施できたことは、地域の誇りです。今後、地域の絆を大切に、活性化の為に若い世代を活動に取り込むことが必要と考えます。小規模地域ですが、故郷に誇りを持ち、大きく視野を広げ、地域貢献や、世界へと発信していきたいです。若い世代と烏梅を使って「紅花染プロジェクト」など、地域活性化の方策をともに考え、取り組んでいきたいと思ひます。

事業名

Think Globally, Act Locally

目標

地域の支援を受けて、地球規模で考え、地域で活動・発信しよう

1. 取組の視点

名勝月ヶ瀬梅溪で知られる本校区は、少子高齢が進むべき地校です。固定化された生育環境に育つ子ども達の視野を広げるため、様々な地域集団との交流体験の充実を図っています。また、教育条件の整備の為、保護者および地域住民の支援を得て、地域ぐるみの教育活動を継続的に展開してきました。小集団であっても、自分の意見や思いをはっきりと表現できる力を伸ばしたいと、異文化交流や発信活動に力を入れて取り組みました。

2. 取組の概要

【故郷を知る】郷土愛を育て、後継者を育成するためにもまず、郷土を知ることが大切です。ボランティアガイドの話を聴き、実際に歩くことで歴史・自然・伝統を体感し誇りを持ってました。各地区ボランティアガイドが教えてくださいました。

【故郷の技・産業を体験する】次は地域の伝統・文化・産業継承。故郷の梅・茶産業の体験。紅花染・奈良晒の体験から、故郷の伝統にかける人の想いを知るキャリア学習につなげました。若い後継者に話を聴き、異世代交流で学ぶことができました。

**アルミ缶で車椅子100台！福井さん講演会**

【故郷に貢献する。発信する】故郷の良さに気づき、守ってきた人の営みや技に触れ、郷土愛を高めることができました。何か故郷に貢献できないかと、長く続けられているのがアルミ缶回収と友愛訪問です。今年はアルミ缶回収が17年目にな

り、寄贈した車いすが100台を突破。記念にルーツになった福井千佳子さんを招き、障害に負けず、

**ユネスコ大会で「中学校賞」・都南中と貢献活動交流**

前向きに貢献活動に取り組みましたお話を聴くことができました。また、生徒会はユネスコスクール仲間“アルミ缶で車椅子を”を発信し、エコキャップ回収で、途上国へのポリオワクチン支援をする学校と、お互いに交換し合い、交流を進めました。独居老人宅を訪問し交流する「友愛訪問」も地域の支援で長く続く福祉貢献活動です。

【スポーツ支援】少人数ではあるが、部活動に熱心に取り組んでおり、地域の支援体制が整っています。都市部から離れ、練習や試合には遠距離になり、部活動支援のバス代や地域コーチが大変ありがたいです“地域の子どもを地域で育てる”熱い地域の支援に感謝します。

3. 成果と課題

17年間続いた「アルミ缶で車いすを！」の活動や友愛訪問、地域清掃などは地域の支援なしには続けられません。本年、ユネスコ大会ESD大賞「中学校賞」を受賞。喜ぶと同時にますます少子高齢が進む地域。活動をつなげていくにはESDを合言葉に、郷土に誇りを持ち、行動する次世代を育てていくことが大切です。若い支援者を広げ、若者が定住できる環境・仕事・活性化の取組を考えていかねばなりません。地域協議会など異年齢の交流を大切にして、話し合いを進め、若者が主体的に考え、行動、発信してほしいです。

事業名

月ヶ瀬大好き！ふるさとに学ぶ（人・もの・自然・産業から）

目標

月ヶ瀬のよさを知り、地域を愛する子どもを育む。

1. 取組の視点

本校も近年、少子化が進みつつありますが、上記のような目標で特色ある取組を進めています。地域ぐるみで「つきがせっこ」を育てていこうという温かい地域、月ヶ瀬で脈々と受け継がれてきた伝統を絶やすことなく未来に繋げていきます。地域の人やもの・自然・歴史・産業から「一心に学びあい、明日の世界に押しすすむ」。たくましく、心豊かな「月ヶ瀬っ子」。地域の宝である子どもたちがそれぞれ輝く明日へ進んでいくようにと願って取り組んでいます。

2. 取組の概要

大きな3つの柱から成ります。「月ヶ瀬の特産物に学ぶ」「月ヶ瀬の伝統に学ぶ」「月ヶ瀬の先輩に学ぶ」です。



特産物には、「梅」と「お茶」があります。梅に関しては、梅実採りから梅

干し作り、媒染剤の「烏梅づくり体験」をしました。日本でも稀少な、地域の継承者にご指導を頂きます。この烏梅を使って「紅花染め」の体験学習へと発展させます。また、茶作りでは「手つみ・手もみ茶」作りの体験をさせてもらったり、闘茶会（茶の品種当て）やおいしいお茶の入れ方を地域の手揉み茶振興会の方々に教えていただいたりします。こうして作ったお茶や梅干しを県外交流校に贈りました。

「地域の伝統に学ぶ」では、「尾山万歳」「狂言」「長引やまびこ太鼓」を地域の保存会や振興会の方から、じかに指導頂きます。その集大成として、学習発表会で劇や合唱と共に地域の方々や保護者に観ていただき発信していきます。学年で力を

合わせて、一つの舞台を完成させる充実感・達成感を十分に味わうことができました。



「先輩に学ぶ」では、地域の万年青年クラブの方々に「昔の遊び」「地域の産業：お茶・果実栽培」「地域の行事食：七草がゆ・茶がゆ」「戦争体験」「軽スポーツ交流」と多くのことを教えていただきます。学習や活動の内容とともに指導していただく方との交流による心の成長や密度の濃いコミュニケーションとなりました。本年は新たに、地域の行事食（一緒に七草を摘み、特産のお茶で粥を炊き会食をする。）を教えていただき、食育としても大切な学びとなりました。

3. 成果と課題

本事業以前から、地域ぐるみで子どもを温かく見守り育てようという地域性があります。紹介した取組は、地域で長く育み保護者の期待も膨らむ事業です。少子化にも負けず、明るく元気にすくすくと子ども達は育っています。取組の内容による学びの充実と共に地域の方との温かい交流を通して、コミュニケーション能力の向上や得難い体験と素晴らしい人・ものに触れて生まれ育った地域への誇りと愛着を育むことができました。

市街地から遠隔地である上に少人数の児童移動についてバス代等の補助金は欠かせないものです。今後も、弾力的に運用できる予算の確保が重要な点であると考えます。